

1. 基本情報											
事務事業コード	02030402	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業				担当部	生活環境部			
						担当課	衛生施設課				
政策名	02	自然にやさしいまちづくり				グループ	施設管理G				
施策名	03	循環型社会の形成				電話番号	45-5111 64-0924(直)				
基本事業名	04	廃棄物処理施設の整備・管理				内線番号	1083				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )				
	款	04	衛生費				根拠法令・条例等	霧島市敷根清掃センターの設置及び管理に関する条例、廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	項	03	清掃費								
	目	02	塵芥処理費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられている事務)					関連計画	霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理基本計画				
事務種別	一般事務			裁量区分	裁量性弱	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民から出される可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理、処分するためにごみ処理場(敷根清掃センター)の管理運営を行う。牧園・横川地区については、伊佐北始良環境管理組合が管理運営している未来館で処理している。

- ・管理運営業務・・・機器類の定期的なメンテナンス、排ガス・ダイオキシンの環境測定、計量事務、ごみの搬入指導
- ・リサイクルプラザ運営業務・・・鉄・アルミ類を分別・回収する
- ・休場日：日曜日、年末年始(12月31日～1月3日)
- ・搬入時間：平日及び祝日は8時30分から正午まで及び午後1時から午後4時まで、土曜日は午前8時30分から正午まで
- ・ごみ処理手数料：10kgにつき80円(市民自ら清掃センターに搬入する場合は30kg以下は徴収しない。)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア ごみの搬入量	t	36,236	36,837	37,853	37,853	37,853
イ 飛灰の搬出量	t	1,813	1,680	1,687	1,687	1,687
ウ 処理人口(牧園・横川地区を除く)	人	114,821	115,160	115,689	116,123	116,557

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 家庭系ごみ、事業系ごみ							
イ 敷根清掃センター							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 適正に処理される							
イ 適切に管理・運営される							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 市域内で処理できる体制が整う							
イ 適切に維持・管理される							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成15年4月の敷根清掃センター稼働に伴い管理運営事業が開始された。その後、合併に伴い溝辺地区のごみも処理するようになった。議員等からメンテナンス費用が高いのではないかという意見がある。

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		1,680	1,400	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		134,489	152,534	148,832	148,832
		一般財源	千円		822,828	823,837	779,859	779,859
	事業費	千円	0	958,997	977,771	928,691	928,691	

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

処理実績は下記のとおり。

可燃ごみ 35,591t  
 不燃・粗大ごみ 2,262t  
 合計 37,853t

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

環境基準を遵守しながら搬入された可燃・不燃・粗大ごみを適切に処理することができた。  
 また、処理過程で分別した鉄・アルミ等の有価物は、業者に売却し、資源の再利用と経費節減を図ることができた。

事務事業コード	02030402	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	長寿命化計画に基づき、焼却炉など基幹的設備改良が完了することにより、効率的な管理運営が図れるため、コストが削減される。	
E 効果性	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	現行の当施設への搬入時間を変えない限り業務時間の削減は難しい。リサイクルプラザは特殊な技能を持った現業職員が行っているため、臨時職員、外部委託は難しい。	
F 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
<input type="checkbox"/> 公平・公正である			
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <							
		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善の方向性		○			○				
(2) 平成26年度の改革改善の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の適切な管理運営により環境基準を遵守する。</li> <li>安定的なごみ処理能力の確保に取り組む。</li> <li>長寿命化計画に基づき、焼却炉など基幹的設備改良事業の実施に向けての準備・検討を行い、効率的な設備の更新や保全管理に努める。</li> </ul>								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設については、環境基準を遵守し、周辺地域の環境に影響を与えないよう、適切な管理運営に引き続き努める。</li> <li>引き続き、安定的なごみ処理能力の確保に取り組む。</li> <li>焼却炉など基幹的設備改良事業については、前年度の検討結果に基づき計画的な実施に努める。</li> </ul>								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									



1. 基本情報						
事務事業コード	02030401	事務事業名	し尿処理場管理運営事業		担当部	生活環境部
					担当課	衛生施設課
政策名	02	自然にやさしいまちづくり			グループ	施設管理グループ
施策名	03	循環型社会の形成			電話番号	45-5111 64-0924(直)
基本事業名	04	廃棄物処理施設の整備・管理			内線番号	1083
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 11 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )
	款	04	衛生費			
	項	03	清掃費			
	目	03	し尿処理費			
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられている事務)				根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、霧島市し尿処理場の設置及び管理に関する条例
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性弱	評価区分	簡易評価
					評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

し尿・浄化槽汚泥を適切に処理、処分することにより、公衆衛生の向上及び生活環境の保全を図る。具体的な業務内容は、機器類の定期的なメンテナンス、修繕、水質検査、各設備の運転監視・制御、計量、処理済汚泥搬出作業など。

【施設の処理区域】

- ・南部し尿処理場: 国分、隼人、福山、霧島地区および溝辺地区の一部
- ・牧園・横川地区し尿処理場: 牧園、横川地区および溝辺地区の一部

【施設の指定管理者】

- ・南部し尿処理場: JFE環境サービス(株) 期間: H25.4.1~H30.3.31
- ・牧園・横川地区し尿処理場: (株)三州衛生公社 期間: H24.7.1~H29.3.31

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	汚泥等搬入量	kl/年	64,487	65,185	64,173	64,615	64,615
イ	環境分析回数(延べ)	回	24	24	24	24	24
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	し尿・浄化槽汚泥						
イ	し尿処理場						
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	適切に処理される。						
イ	適切に管理・運営される。						
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	施設が適切に維持管理される						
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

南部し尿処理場は平成19年4月から、牧園・横川地区し尿処理場は平成11年4月から稼働している。

運転管理面では、濃縮車の導入が進み、搬入量が減少する反面、濃度が濃くなる傾向にあり、注意する必要がある。

また、南部し尿処理場は平成25年4月から、牧園・横川地区し尿処理場は平成24年7月から、指定管理者による運転管理を行っている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費	投入量	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		11,500	11,326	11,273
		一般財源	千円		209,218	228,430	229,824
		事業費	千円		0	220,718	239,756

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

搬入量(処理量)実績  
(牧園・横川地区し尿処理場と南部し尿処理場との合計)  
<平成25年度>  
し尿 : 21,214 t  
浄化槽 : 42,959 t  
合計 : 64,173 t  
指定管理料: 179,493千円

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

牧園・横川地区し尿処理場に続き、南部し尿処理場にも指定管理者制度を導入し、搬入されるし尿および浄化槽汚泥を適切に処理した。

また、周辺環境や地域住民の生活環境に配慮するため、臭気対策や排水対策に万全を期し、構内の剪定・草払いなど環境美化にも努めた。

事務事業コード	02030401	事務事業名	し尿処理場管理運営事業	担当部	生活環境部
				担当課	衛生施設課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	公害防止のため薬剤費等の使用を制限するのは難しい。また、機器の不具合箇所修理、計画的な部品の交換等を行う必要がある。今後、経年劣化による経費増が懸念される。また、運転管理については、既に指定管理者制度を導入し、事業費の削減に努めている。	
⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	汲み取り業者の搬入時間に対応するため、業務時間の削減は難しい。また、運転管理については、指定管理者への委託により市職員6人分の削減効果があった(南部3人、牧横3人)。		
⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？			
<input type="checkbox"/> 公平・公正である			
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	牧園・横川地区し尿処理場、南部し尿処理場の各指定管理者と協力して、し尿・浄化槽汚泥を適切に処理、処分し、公衆衛生の向上及び生活環境の保全に努めるほか、施設周辺の環境の保全、美化活動にも取り組む。 また、費用対効果の観点に立ち、設備の適切な維持管理に努めるとともに、指定管理者とも協力して、さらなる経費節減に取り組む。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	し尿処理施設については、環境基準を遵守し、周辺地域の環境に影響を与えないよう、各指定管理者とも協力しながら適切な管理運営に引き続き努める。 また、設備の適切な維持管理に努め、安定的な処理能力の確保と長期的に見た経費節減に取り組む。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

